

お知らせ

- 里山公開講座；森林研究所主催里山公開講座の受講者募集中です。テーマは「広葉樹林の管理」です。希望者はちば里山センターあて申込下さい。11月5日開講。電話：0438-62-8895 メール info@chiba-satoyama.net
- 11月臨時活動日；11月19日（木）里山公開講座の現地研修が豊英島で実施されるため、研修支援のため臨時活動日とします。またこの日巨木林の生長量調査も行います。9：30 清和県民の森第二駐車場集合。
- 12月定例活動日；12月5日（土）巨木林調査、シイタケ食害保護、リースづくりなど。
- 忘年会のご案内；12月5日17時30分、於鎌田屋旅館、会費約9千円、日帰り5千円。参加希望者は上記事務局アドレスにメール又は電話下さい。11月20日までに。
- チェーンソー安全研修；12月6日（日）ちば里山センター主催、木村講師のチェーンソー安全研修が豊英島で実施されます。受講希望者は事務局上記アドレスにお申込みください。11月20日までに。
- 会員の入会；君津市豊英の占部昭久・浩子（ひろこ）さん9月26日入会、今回のきのご観察会に参加の佐倉市坂本文雄さん、千葉市降幡治幸さん10月27日入会。坂本さんは清和地区の出身、野鳥やキノコなど多方面にご活躍、降幡さんは3頁に寄稿頂いています。皆様のご活躍に期待します。宜しくお願いします。

活動の記録

10月24日（土）曇後雨 きのご観察会

千葉県中央博物館吹春講師、千年の森会員含む参加者総勢40名。吹春先生をお迎えして恒例となった豊英島キノコ観察会は、会員の参加は7名と少ない半面、千葉菌類談話会（千葉菌）の方々、募集チラシを見て参加の皆さん、キノコ大好きな子供たち、ベトナムからの留学生まで多彩な顔ぶれで大盛況。



今年はキノコが極端に少ない上に、昼過ぎから生憎の雨のなか、熱心にキノコを観察し勉強しました。

○キノコ観察ツアー；コースは昨年と同じホテイ岬方面、昨年に比べ非常にキノコは少ない。それでも誰かが何かを発見し、吹春先生の解説が始まる。また何かを発見し「先生！！これは？」と声がかかり先生は大忙し。モミ・ツガ林斜面にモミの菌根菌アカモミタケ、ホテイチク林にアカヤマドリ、ホテイチク保護柵内にケロウジ…。千葉菌などのベテラン組は巨木林など各自の嗅覚を頼りに自由にキノコ探索、成果は？？



○キノコの勉強会；採取したキノコを広場に集め、昼食時間返上して吹春講師と千葉菌メンバーで同定、昼食後キノコを囲み勉強会。キノコ不作の割に集まったキノコは多い、昨年のような「山」はないが。教材プリント「顕微鏡をつかわない、やわらかいキノコのわけかた」に従いベニタケ科から始まる胞子の色で見分けるキノコの解説、雨が強くなっても解説に熱がこもり、オニフウセンタケが「千年の森」とニューギニアの森のつながりに発展し、ベニタケの菌糸からギンリョウソウやアキノギンリョウソウが栄養をもらう話など、雨でプリントの文字が消えても講師の熱弁は続き、子供も大人も熱心に聴き入る。

○観察したキノコは49種；吹春先生は採取したキノコを当日中央博に持ち帰り、うち12種の標本を作製、49種を豊英島キノコ目録に追加入力されました。お疲れのところ有難うございました。

オニフウセンタケ、コタマゴテングタケ、コタマゴテングタケ類似種 キヒダフウセンタケ、硬質菌3種類、ミネシメジ、エビウラタケ、ケロウジ、ケショウシメジ、オウギタケ（以上12種標本作製）コウタケ、シロハカワラタケ、ハタケシメジ、サクラシメジ、ウスキモリノカサ、カノシタ、ネンドタケモドキ、ワヒダタケ、ツヤウチワタケ、ヒメカバイロタケ、カイガラタケ、カワラタケ、ザラエノハラタケ、ヤマドリタケモドキ、アカヤマドリ、クサウラベニタケ、ウラベニホテイシメジ、ウコンハツ、シロハツ、ニガクリタケ、トビチャチタケ、キチチタケ、アカモミタケ、ウスタケ、フジウスタケ、ノウタケ、アミタケ、ハナピラニカワタケ、スッポンタケ、コテングタケモドキ、ガンタケ、テングタケ、ニオイキシメジ、ツエタケ、ナラタケ、シイタケ、ヌメリイグチ

○植生調査；キノコ探しの合間に6歳の中田智貴（トモキ）君はホテイ岬で、会員の甲斐さんは巨木林ホダ場で腐生ランを発見しました。市原植物研究会の今井節子さんによるとクロヤツシロラン（ラン科の菌従属栄養植物、千葉県一般保護植物：C）ではとのことですが再確認します。観察路沿いやホダ場に沢山群生。このほか今井さんはカラスザンショウとコブシを確認し、豊英島の確認種数は通算306種に。

本降りの雨の中でも皆が聴き入るほど興味深く解説下さった吹春先生、ご協力いただいた千葉菌や県民の森関係者の皆さん、君津の自家野菜と森のキノコの具沢山きのこ汁をふるまって下さった長谷川さんとお手伝い会員の皆さん、大勢の仲間を誘い、重い道具を携えて遠路駆けつけ協力くださった佐倉の坂本さん、有難うございました。雨の中最後まで熱心にキノコ観察会に参加の皆様、お疲れ様でした。スタッフ手薄で不慣れなため、会場設営（特に雨天対応）その他不行き届きがありましたことお詫びします。平年の豊英島はキノコの宝庫です。天候が良ければ豊英島は素晴らしい森です。これに懲りず、いつかまたお訪ねくださいますようお願いしています。

きのこ狩り



千葉市立打瀬小学校2年 中田夏実（ナツミ）

今日はきのこ狩りに行きました。いろんなキノコがありました。まず行く時に広場に集まりました。広場に近づいたらアカヤマドリという大きなキノコを見つけました。（左写真）またアガリクス属の仲間も見つけました。まだ名前が決まっていないのだそうです。いつか決まるといいな、と思いました。

湖の近く（ホテイ岬）では、まだ開いていないアカヤマドリを見つけました。ベニタケやノウタケ、ホコリタケ、ニガクリタケ、他にもたくさんキノコが採れました。食べられないのも多かったみたいけど、中華料理にも使うキクラゲがあったのは、おもしろかったです。ホコリタケは上をさわると、ホコリのような孢子が出てるのが面白かったです。テングタケは面白い色をしていました。

お昼ごはんではキノコや野菜が入ったきのこ汁、とってもおいしかったです。帰りには雨が降ってびしょびしょにぬれて寒かったです。でもすごく楽しかったし、勉強になりました。また来年も行きたいです。

（編集者記；来年はもっとあります、ぜひ来てください。夏美さん・智貴君とも多くのきのこを真っ先に発見、観察会や勉強会では常に先生のそばで熱心に勉強、話に聴き入っていました。6歳の智貴君はキノコだけでなく樹上のハラビロカマキリや大人が8年間発見できなかった希少種のランを目ざとく発見。将来のきのこ博士、生きもの博士の成長が楽しみです。それも5人の子供を連れて遠路観察会に参加される両親の熱意の成果？）

この活動は2009年度セブン・イレブンみどりの基金の公募助成を受けています



すばらしい自然の残る「千年の森」

千葉市 降旗治幸（フリハタハルユキ）

「千年の森」すばらしい自然です。千葉県の記事も千葉県の「秘めた力をこれから引き出していく」と仰っていますが、菌類の世界でも、千葉県は圧倒的な力を秘めていることを、この目で確認することができました。

観察会の当日は、少し時期がずれていましたので、茸の少ないのではないかと不安がありましたが、茸に対する嗅覚が敏感になっていましたので、直ぐに、あみ茸、ウス茸、ケロウジなどを発見することができました。

その後、多くの希少な茸「コウタケ、ウスタケ、オニフウセンタケ」や希少な植物「ツチアケビ」「ギンリョウソウ」などを目にするすることができました。このすばらしい森は人の手によって、絶対に壊してはならないとあらためて感じました。

また、会員の皆様が豚汁をはじめ、簡易トイレや雨よけのターフまでも設置していただき本当にありがとうございました。ぜひとも、千年の森に入会したいと思います。

（編集者記：降旗さんは豊英島がすっかり気に入って、入会されました。キノコの撮影が趣味とのこと。ご活躍を期待します）

「千年の森」キノコ観察会に飛び入り参加して

君津市久保 小山和裕・真理子

私ども夫婦は、この時期ほぼ毎週のように清和県民の森周辺で定点観察をしています。いつものように駐車場付近を通ると石井所長の横に吹春先生がいるではないですか。10月10日の観察会にも来て頂いているのに……。すぐにひらめきました。ネットで見た「ちば千年の森をつくる会」豊英島、クジラ島とかかな。早速飛び入り希望すると快く了解して頂きました。豊英島になど普通なら来れない。吊橋を渡ると如何にも環境のよさそうな林ではありませんか。お昼に私どもが手ぶらで来たのを気遣ってオニギリを頂いた船橋の方、吹春先生有難うございました。皆様の優しさで、お腹ではなく胸が一杯になりました。きのこ汁を作って頂いたお姉さま方有難うございました。何より会を企画運営されている方々ご苦労様です。私どもも君津に住んで近くです。何かあって連絡頂ければ力になれそうです。

（編集者記：今後お届けする「千年の森便り」を見て、気が向けばいつでもご参加ください。入会も可能です、地元大歓迎。「船橋の方」は会員の安藤さんです。）